

今年の梅雨時期・作付け時期までの
復旧見通しについて

- (1) 公共土木施設の復旧（道路・河川等）
- (2) 農地・農業用施設の復旧

平成25年1月31日

大分県水害対策会議

公共土木施設（道路、河川等）の復旧について

1 全体の復旧状況と見込み

（1）復旧状況

- 「復旧・復興推進計画」に計上している復旧箇所は、道路、河川、砂防を合わせて847箇所
- 全体の復旧状況は、平成25年1月28日現在で、着手率は93%（787箇所）であり、4.1%（35箇所）について復旧工事が完了

（2）今後の復旧見込み

年度末（3月末）までには概ね20%、また、梅雨時期までには概ね70%の復旧が図られる見込み

2 施設別の復旧見込み

（1）道路

○道路に関する復旧は、梅雨時期までに一部を除き概ね完成する見込み

・今後の復旧予定の主な復旧箇所

- 国道212号（中津市耶馬溪町戸原）・・・ H25.3末復旧予定（別紙①）
- 国道502号（竹田市片ヶ瀬）・・・ H25.5末復旧予定

○梅雨時期までの完成が困難な箇所

- ①山移大島線（中津市耶馬溪町金吉）・・・ H25.9末復旧予定（別紙②）
【理由】被災延長が長く、同時施工不可
- ②中津山国自転車道線（第二山国川橋）・・・ H26.3末復旧予定（別紙②）
【理由】橋梁災のため、下部工後に上部工を施工するため期間を要する

※現在の全面通行止め箇所

- ・全面通行止め箇所は、中津山国自転車道線など12箇所（別紙③）
なお、梅雨時期までにはこのうち6箇所を開放する予定

（2）河川、砂防

○河川及び砂防設備は、梅雨時期までに概ね65%の工事が概ね完成する見込み

○梅雨時期までの完成が困難な箇所の理由とその対応

※梅雨時期の出水等による再度災害を防ぐための応急措置等を行う

パターンⅠ 災害復旧に改良的な要素を加えた改良復旧（別紙④）

【例：春田川（玖珠町）】

〔理由〕 施工量が膨大

地元の協力による用地買収が必要

〔対応〕 河床掘削を先行し、流下能力の確保を図る

用地買収線を現地に明示

パターンⅡ 大規模かつ広範な被災状況による長期の工程（別紙⑤、⑥）

【例：有田川、吾々路川（日田市）】

〔理由〕 施工延長が長く、施工量が膨大

〔対応〕 河床掘削を先行し、流下能力の確保を図る

崩壊した護岸の背後地が住宅や生活道路の箇所、および河川の水衝部を優先的に施工

パターンⅢ 自然や景観に配慮した自然石積みによる復旧工法（別紙⑦）

【例：並石川（中津市）】

〔理由〕 施工延長が長く、施工量が膨大

国定公園内は石積で復旧

〔対応〕 河床掘削を先行し、流下能力の確保を図る

崩壊した護岸の背後地が住宅や生活道路の箇所、および河川の水衝部を優先的に施工

パターンⅣ 現場が狭く急峻な地形であるため重機等の乗入れが困難（別紙⑧）

【例：滝水川（竹田市）】

〔理由〕 進入路の延長が長く、設置に期間を要する

〔対応〕 被害の拡大防止のため寄せ石を行う

○梅雨時期までの完成が困難な箇所の対応方針（まとめ）

- ・河床掘削を先行し、流下能力の確保を図る
- ・工事区間のうち、背後地の状況（人家や公共施設、営農活動）や河道特性（水衝部など）を考慮して、緊急性の高い箇所から順次護岸を施工する
- ・護岸施工が間に合わない箇所は転石を寄せて配置し、更なる土地の流失や河床の洗掘防止を図る
- ・その他、可能な限り現地に応じた対策を講じる。

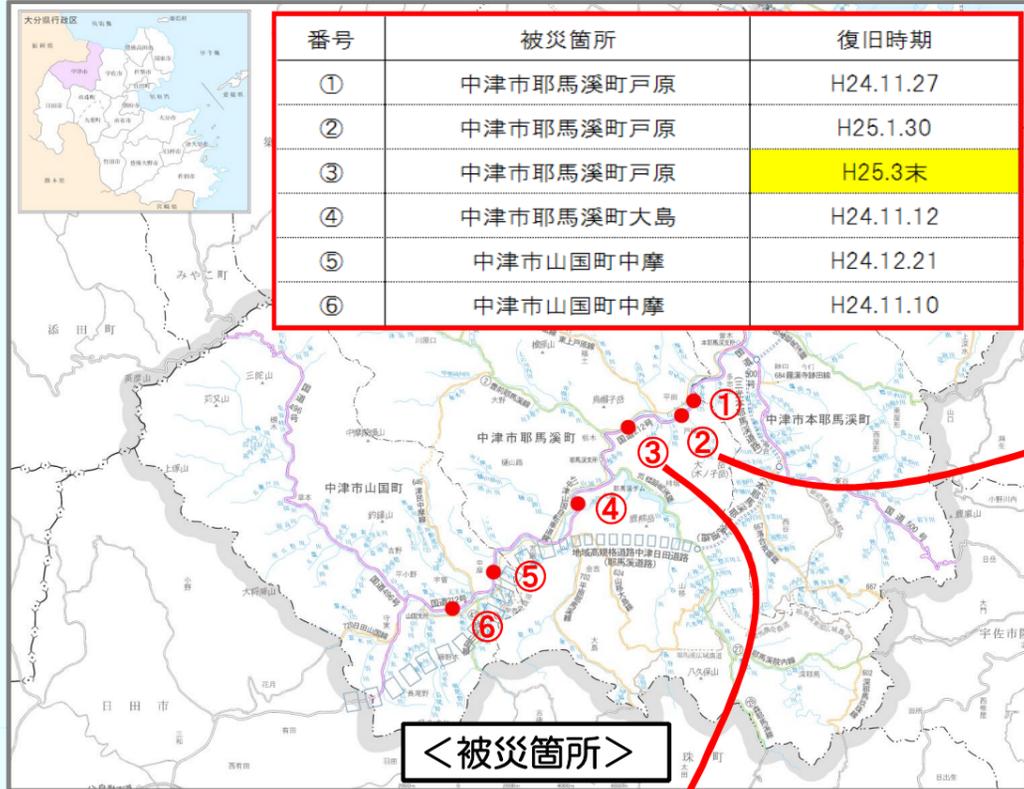
3 地元への説明

河川と農地との連携復旧箇所については、2月中に振興局、市町と協力して地元関係者へ復旧スケジュールを説明する

4 進捗管理

災害復旧工事の進捗管理を密に行っていく

■ 国道212号

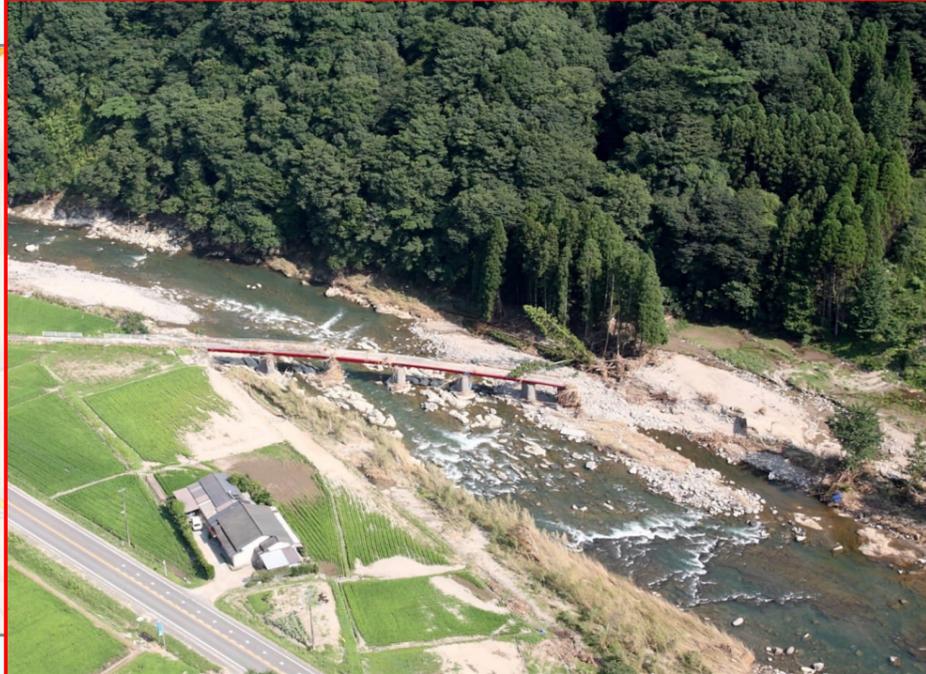


道路災害復旧状況 (一) 中津山国自転車道線・(一) 山移大島線

■ 中津山国自転車道線



① 第二山国川橋



② 第四山国川橋

■ 山移大島線



平成24年梅雨前線豪雨による(大分県管理国県道) 全面通行止区間一覧

番号	路 線 名	市町村名	地 区 名	規制開始		規制内容
				日	時	
1	(一)成仏杵築線	国東市	国東町成仏	6月25日	14:45	全面
2	(主)別府一の宮線	由布市	湯布院町川西	7月12日	18:50	全面
3	(主)日田鹿本線	日田市	中津江村合瀬	7月15日	7:00	全面
4	(主)日田鹿本線	日田市	中津江村合瀬	7月15日	7:00	全面
5	(主)日田鹿本線	日田市	八幡町	7月14日	12:00	全面
6	(一)山移大島線	中津市	耶馬溪町金吉	7月3日	15:00	全面
7	(一)山移大島線	中津市	耶馬溪町金吉	7月4日	10:00	全面
8	(一)中津山国自転車道線	中津市	三光臼木	7月14日	17:00	全面
9	(一)中津山国自転車道線	中津市	山国町宇曾	6月18日	13:00	全面
10	(一)中津山国自転車道線	中津市	耶馬溪町柿坂第二山国川橋	7月3日	10:30	全面
11	(一)中津山国自転車道線	中津市	耶馬溪町金吉	7月3日	9:00	全面
12	(一)中津山国自転車道線	中津市	耶馬溪町小友田	7月13日	17:30	全面

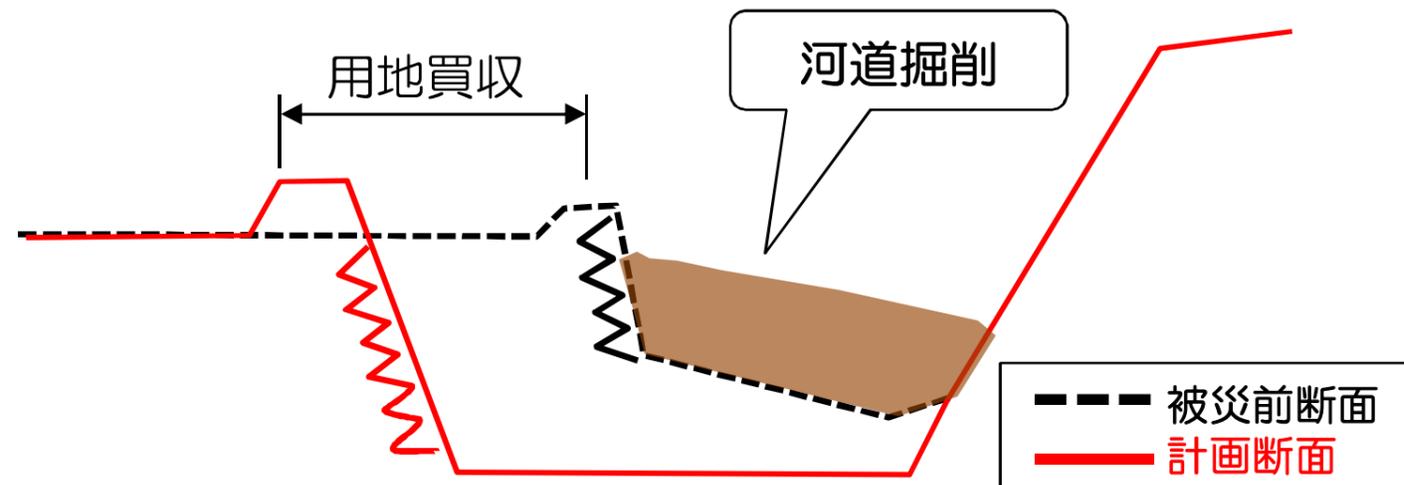
※「2」(別府一の宮線)、「3」「4」「5」(日田鹿本線)、「8」「9」「12」(中津山国自転車道線)の7箇所については、梅雨時期までに復旧する見込



【被災状況】



【標準断面図】



【事業概要】

事業期間：平成24年～26年（3年間）
 事業費：8億8,641万円
 事業内容：延長 L=2,321m
 護岸工 A=13,092m²
 床固め工 22基

【梅雨時期までに完成しない理由】

- ・ 施工量が膨大のため期間が3年間
- ・ 改良復旧のため用地買収が必要



【対策】

- ・ 堆積が著しい箇所での河道掘削を行い流下断面を広げる
- ・ 用地買収線を現地に明示

II 大規模かつ広範な被災状況（有田川 河川災害復旧工事（護岸崩壊）【日田市大字羽田】）

別紙⑤



有田川 河川災害復旧工事
11箇所（激特箇所除く）

全体概要

復旧延長（左岸）	684 m
復旧延長（右岸）	1,113 m
護岸工	7,605 m ²

【梅雨時期までに完成しない理由】

- ・被害延長（総延長約L=1,800m）が長く、
施工量（護岸面積約A=7,600m²）が膨大



【対策】

- ・梅雨時期までに堆積土砂を除去
- ・背後地が住宅や道路の箇所および農地に
関連する水衝部を優先して施工

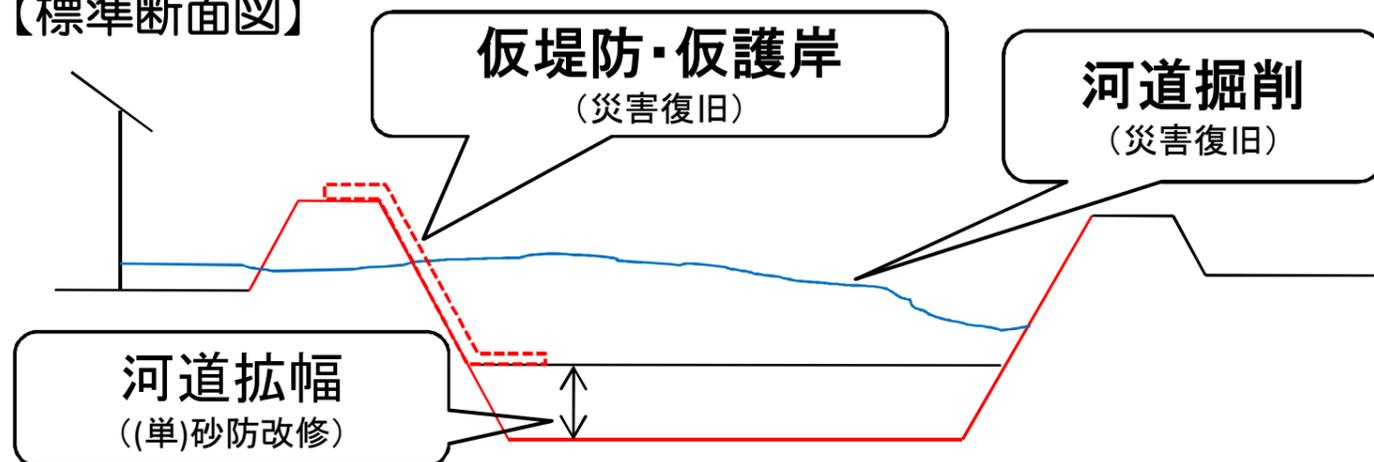


応急工事

河道掘削
仮堤防・仮護岸の設置



【標準断面図】



【梅雨時期までに完成しない理由】

- ・ 進入路が1ルートのみであり、また延長が長く工程調整が困難



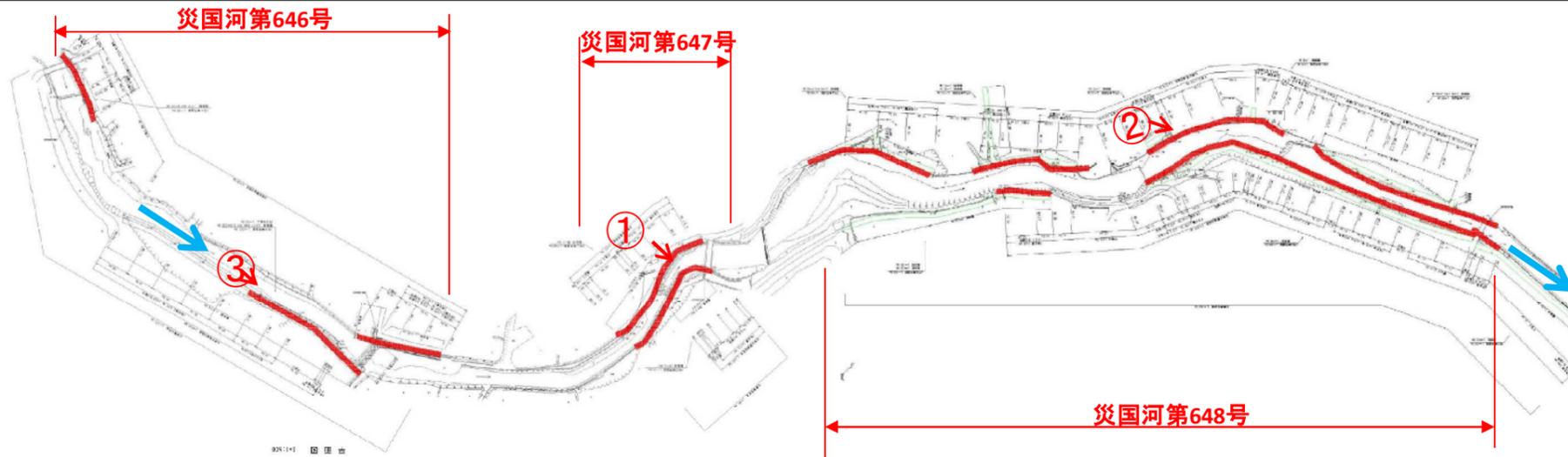
【対策】

- ・ 仮堤防・仮護岸・河道掘削を実施済
- ・ 人家付近の護岸は梅雨時期までの完成を目指す。

Ⅲ 自然や景観に配慮（並石川 河川災害復旧工事（護岸崩壊））

【中津市耶馬溪町大字金】

別紙⑦



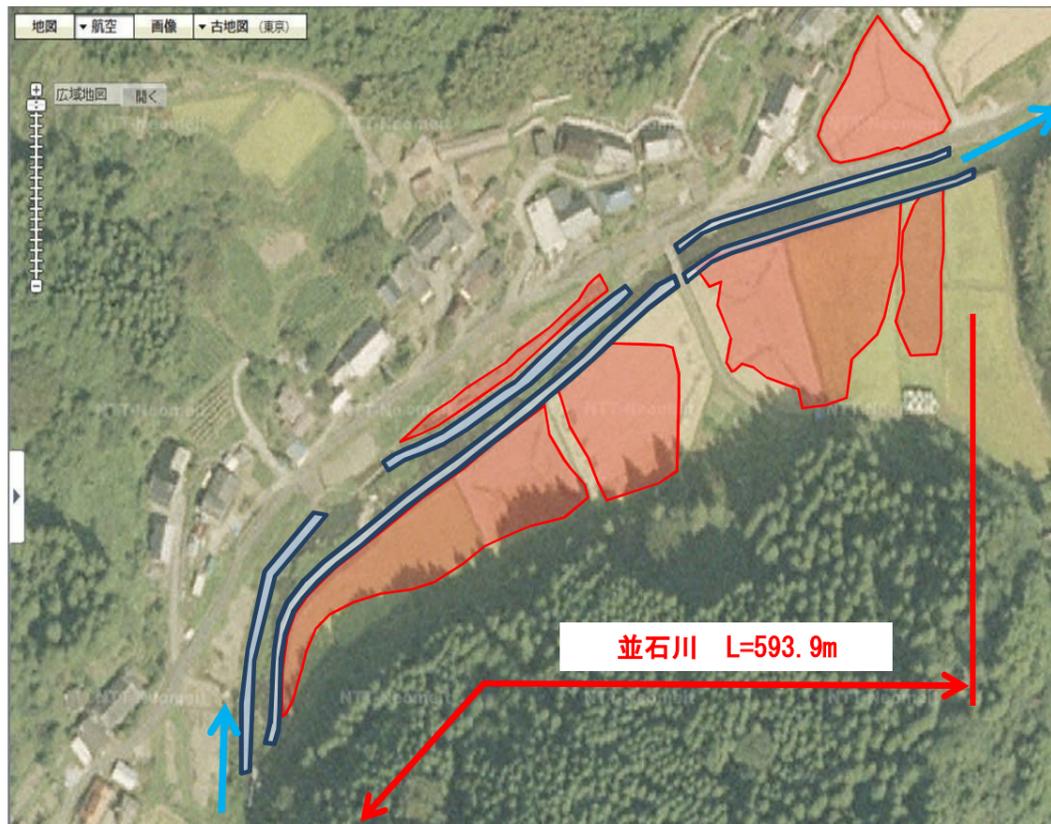
① 河川護岸崩壊状況



② 河川護岸埋塞状況
(田面と同じ高さまで堆積)



③ 河川護岸流失状況
(既設石積みが流失)

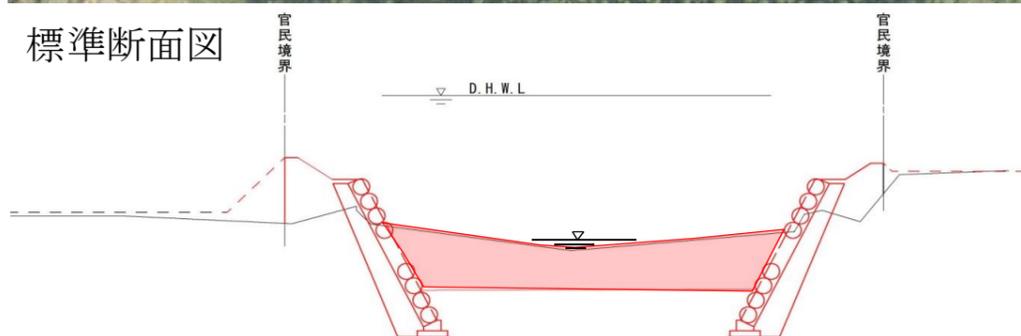


並石川 河川災害復旧工事

全体概要（3箇所）

工事概要	
延長	L= 593.9m
延長（左岸）	L= 304.1m
延長（右岸）	L= 394.7m
石積工	A= 2,609m ²

標準断面図



【梅雨時期までに完成しない理由】

- ・被害延長が長く、施工量が膨大
- ・国定公園内は石積で復旧
(石材φ400mm内外は現地採取)

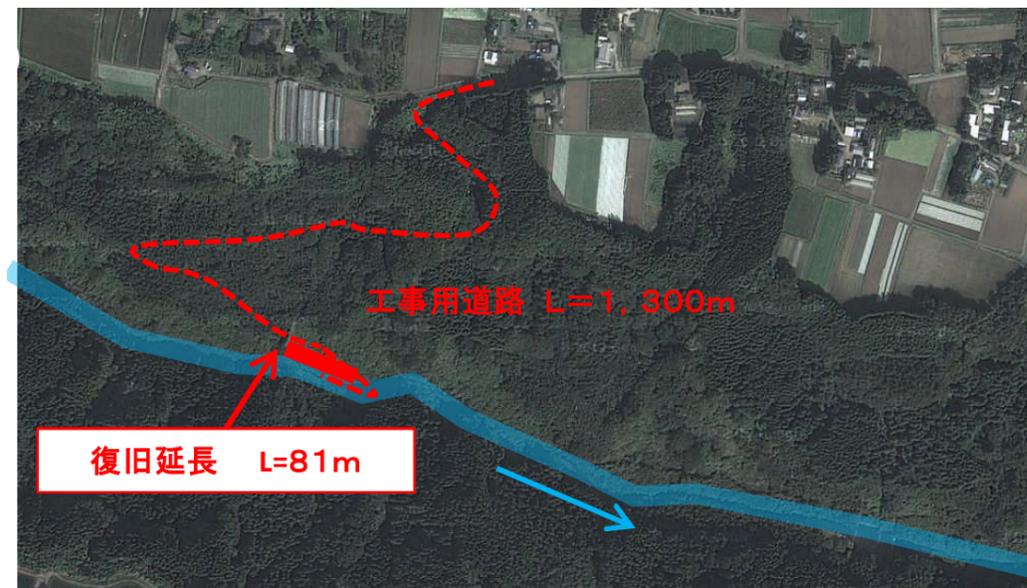


【対策】

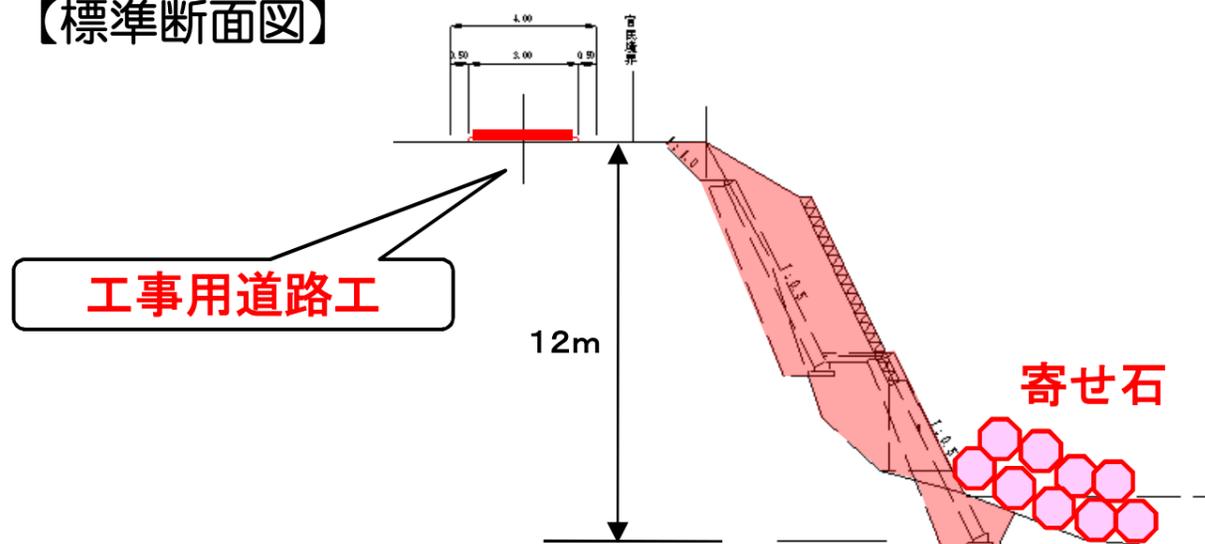
- ・梅雨時期までに堆積土砂の除去、水衝部の護岸施工を優先し、7割完成を目指す
- ・全体完成は9月頃予定

IV現場が狭く急峻な地形（滝水川 砂防災害復旧工事(進入路)竹田市荻町大字政所）

別紙⑧



【標準断面図】



【梅雨時期までに完成しない理由】

- ・ 進入路(工事用道路)の延長が長く 設置に期間を要する



【対策】

- ・ 被害の拡大を防ぐため寄せ石を行う

農地・農業用施設の復旧について

1. これまでの経緯と今後のスケジュール

- ①国の災害査定の完了
 - ・12月末完了（中津市：324件、日田市：826件、玖珠町：276件）
 - ・1月上旬完了（竹田市：1,907件）
- ②現在、事業主体である市町が工事発注に向けて設計書の作成中、順次発注を行っている
 - ・県、他の市町による支援

2. 復旧の優先順位

市町が工事発注するうえでの優先順位は次のとおり

- ①頭首工やため池、幹線用水路等の用水施設、農道等影響の高い農業用施設
- ②河川災害復旧工事と併せて施工が必要な農地及び農業用施設
- ③その他の農地及び農業用施設

3. 今後の作付けの見通しについて

- ・①農地の単独被災箇所が全体の概ね8割、②河川関連の被災箇所が概ね2割

①農地の単独復旧箇所（別紙①）

散在する畦畔崩壊が大半を占める農地被災箇所については、復旧工事が完成しない場合でも、仮畦畔等の営農対策により作付けが可能となる面積は概ね8割程度となる見込み

②河川と農地との連携復旧箇所（別紙②）

工事の進捗状況をふまえ、箇所ごとのパターンに応じて、仮畦畔等の営農対策により、作付けが可能となる面積は概ね6割程度となる見込み

※用水確保のため、頭首工や幹線用水路等を優先的に復旧するが、復旧に期間を要するものについては、被災直後と同様に仮設パイプや応急ポンプにより対応

○工事の進捗をふまえ、仮畦畔等の営農対策により、全体で概ね8割の作付け可能としたい

4. 地元（被災農家）への説明

①農地の単独復旧箇所

県と市町等で全ての集落を回り復旧見通し等についての説明を行う

①時期：2月～

②内容：復旧見通し、仮畦畔等による営農対策の推進、資金支援策等

②河川と農地との連携復旧箇所

県土木事務所、県振興局と市町が協力して地元関係者に復旧スケジュール等を説明する

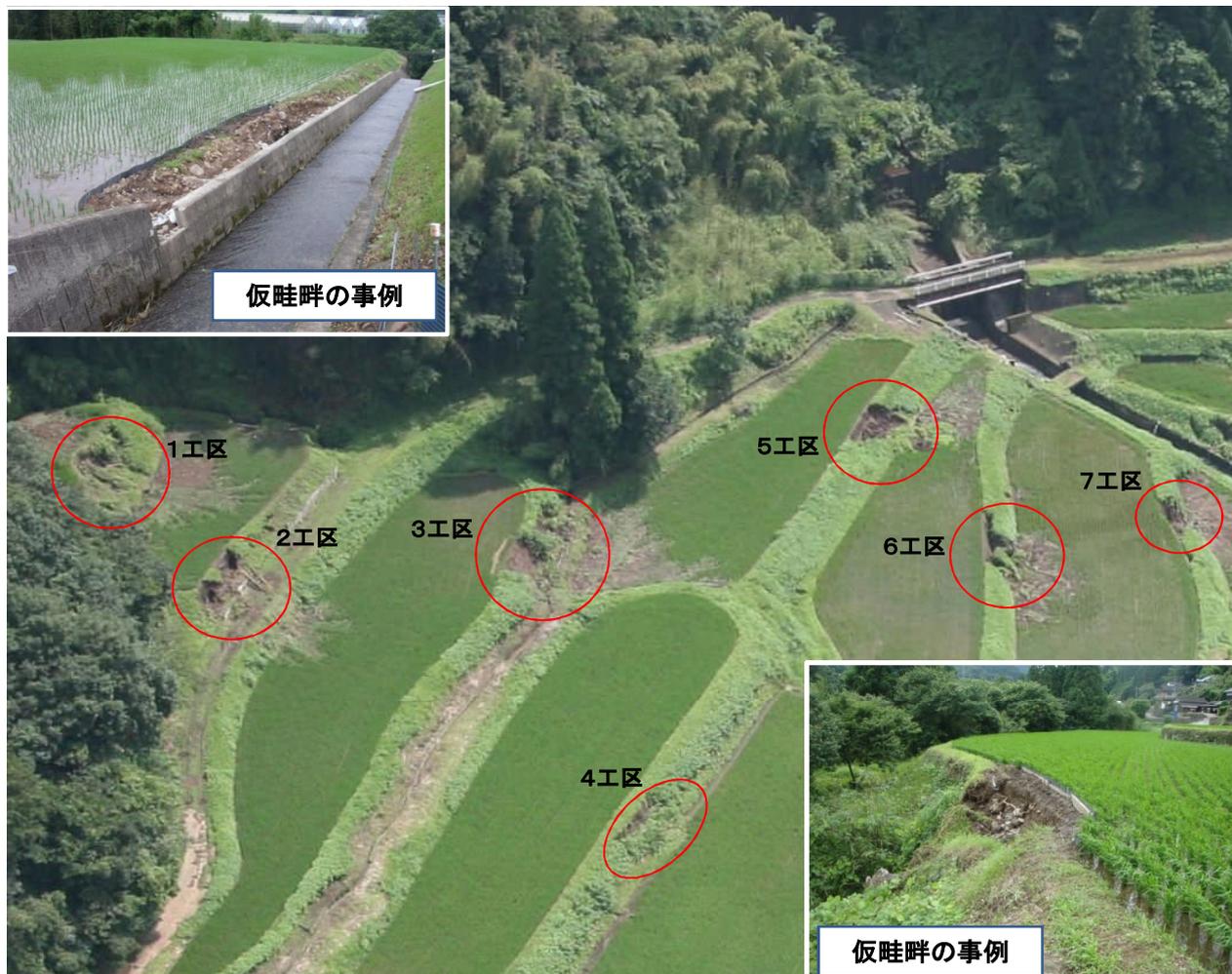
①時期：2月

②内容：復旧スケジュール、仮畦畔等による営農対策の推進等

5. 進捗管理

災害復旧工事等の進捗管理を密に行っていく

①農地の単独復旧箇所



【対応】

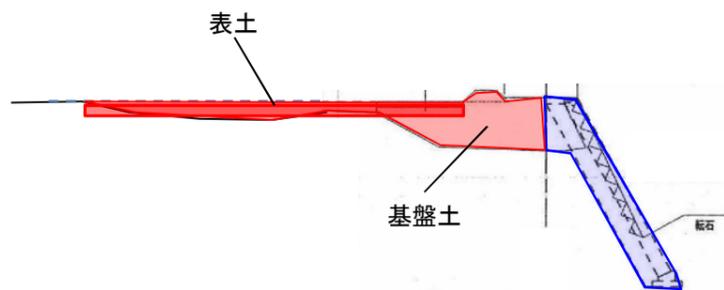
- ・ 作付けに向けて、順次復旧工事を進める。
- ・ 復旧工事が完成しない場合でも、仮畦畔等の営農対策により、作付けを可能とする。

②河川と農地との連携復旧箇所(パターン事例)

パターン①:H25の作付けまでに復旧可能事例

想定される箇所: 農地・河川の被害が大規模でない箇所

(事例写真 日田市小野地区)



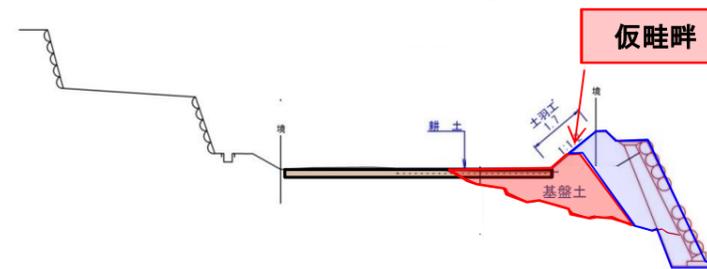
【対応】

- ・市町の早期発注に対する県の支援
- ・河川護岸復旧と農地復旧の一体施工による早期完成

パターン②:復旧工事は完成しないが作付け可能事例

想定される箇所: 復旧工事は完成しないが、仮畦畔等の営農対策により作付け可能となる箇所

(事例写真 中津市耶馬溪町 金吉地区)



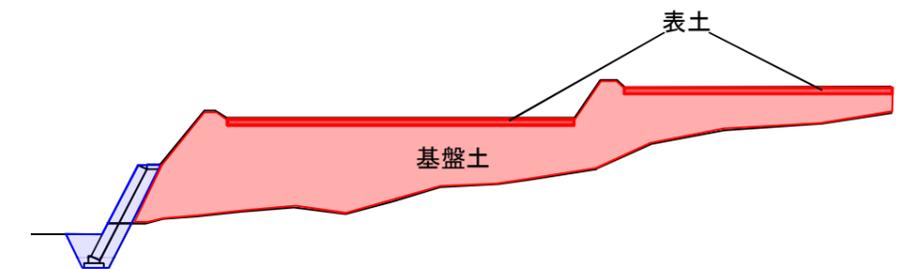
【対応】

- ・仮畦畔等の営農対策による作付け
- ・仮設パイプや用水ポンプによる用水の確保

パターン③:H26の作付けまでに復旧の事例

想定される箇所: 農地・河川の被害が大規模な箇所

(事例写真 竹田市 川床地区)



【対応】

- ・河川工事との綿密な工程管理のもと、25年度中の復旧を目指す
- ・仮畦畔等の営農対策により、一部でも作付けが可能となるよう対応